



公営企業会計

民間企業と同じように、サービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。水道・下水道・病院の3つの企業会計があります。

病院事業

収益的収支	収入	66億4,402万円
	支出	68億6,604万円

資本的収支	収入	3億3,124万円
	支出	10億953万円

内部留保資金残高 2億1,589万円

- 市民病院入院患者数 … 4万6,510人 前年度比 2,815人増。
- 市民病院外来患者数 … 14万1,289人 前年度比 2,090人増。
- 泉郷診療所外来患者数 … 520人 前年度比 86人減。
- 支笏湖診療所外来患者数 … 597人 前年度比 62人減。

《内部留保資金残高》とは
内部留保資金は、過去からの利益（黒字）の蓄積によって生じた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。

下水道事業

収益的収支	収入	36億9,575万円
	支出	34億1,638万円

資本的収支	収入	19億2,268万円
	支出	30億9,526万円

内部留保資金残高 22億7,754万円

- 排水戸数 … 4万5,059戸 市が下水道の処理を行う区域の戸数。前年度比 1,062戸増。
- 総処理水量 … 1,901万2,508m³ 処理した下水の総水量。前年度比 3.78%減。
- 有収水量 … 1,473万4,649m³ 総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度比 2.61%増。
- 有収率 … 77.50% 総処理水量に占める有収水量の比率。高いほど良好な状況を示す指標。前年度比 4.83ポイント増。

水道事業

収益的収支	収入	23億4,874万円
	支出	21億9,612万円

資本的収支	収入	8億1,687万円
	支出	14億9,598万円

内部留保資金残高 8億507万円

- 給水戸数 … 4万5,883戸 市が水道水を供給している戸数。前年度比 1,078戸増。
- 総配水量 … 1,222万1,759m³ 市内に送り出された総水量。前年度比 1.44%増。
- 有収水量 … 1,189万325m³ 総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度比 2.16%増。
- 有収率 … 97.29% 総配水量に占める有収水量の比率。高いほど良好な状況を示す指標。前年度比 0.69ポイント増。

《収益的収支》
1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。

《資本的収支》
1年間に支出した施設の建設経費（借金返済を含む）と財源収入。

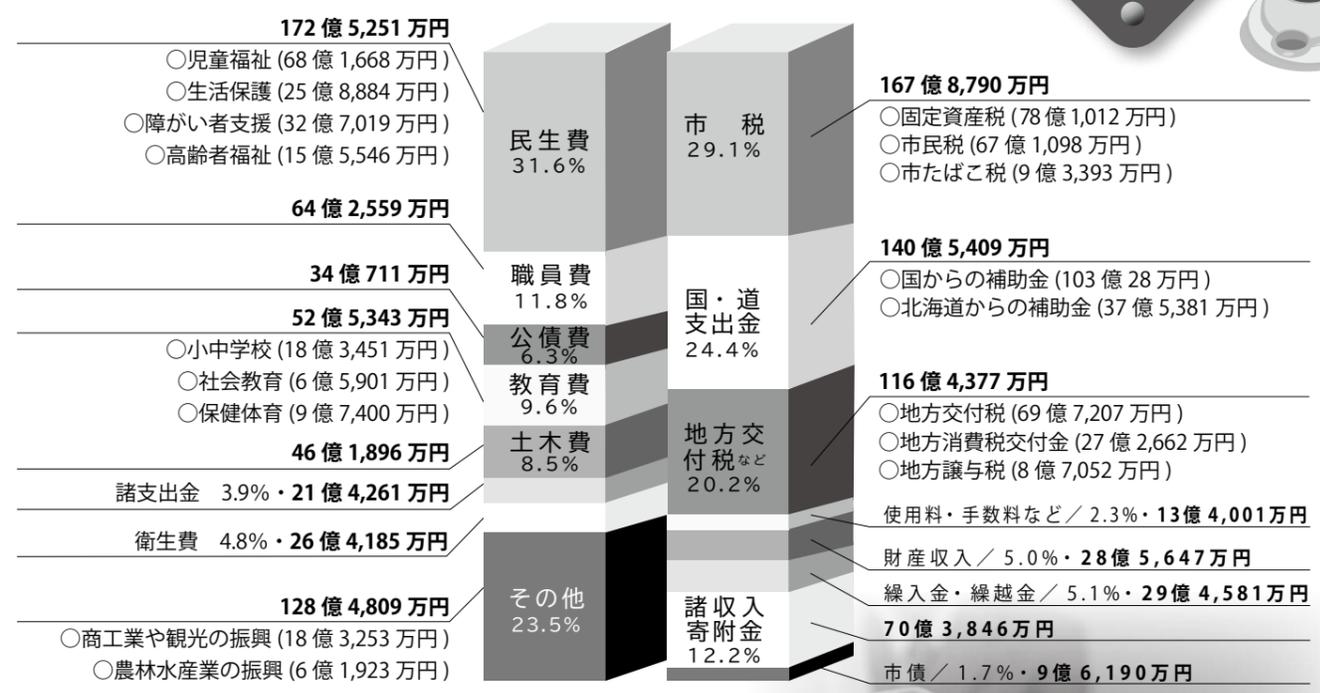
一般会計

福祉や教育、消防など市が行う行政運営の基本的な経費を経理する会計です。

歳出決算 545億9,015万円

歳入決算 576億2,841万円

※ 内訳には、主な項目を掲載しています。



特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。6つの会計ごとに事業をやりくりしています。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険（国民健康保険事業を運営するための会計）	77億7,553万円	77億7,165万円	388万円
土地取得事業（公共施設用地をあらかじめ取得するための会計）	61万円	16万円	45万円
公設地方卸売市場事業（公設地方卸売市場を運営するための会計）	5,679万円	5,663万円	16万円
霊園事業（霊園の用地取得や管理運営のための会計）	2,541万円	2,528万円	13万円
介護保険事業（介護保険事業を運営するための会計）	58億263万円	57億5,080万円	5,183万円
後期高齢者医療（後期高齢者の医療保険制度のための会計）	12億8,123万円	12億7,489万円	634万円
合計	149億4,220万円	148億7,941万円	6,279万円

財政健全度を判断する指標

- 平成20年から《財政健全化法》により、全国の地方公共団体は、毎年度、財政の健全度を判断する指標を算定し、公表しています。
- 5つの指標のうち、1つでも市の比率が国の基準比率を超えた場合、計画的な健全化・再生が義務づけられます。
- 早期健全化の基準を超えると、《財政健全化団体（破綻の一步手前）》に、財政再生の基準を超えると、《財政再生団体（破綻）》となります。
- 実質赤字、連結実質赤字が生じていない場合および将来負担比率が算定されない場合は「-」で表示しています。

指標	市の比率	国の基準比率	
		早期健全化	財政再生
健全化判断比率 実質赤字比率	—	12.03%	20.0%
連結実質赤字比率	—	17.03%	30.0%
実質公債費比率	7.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	—
資金不足比率	該当なし	20.0%	—

市の財政に関する詳細は
総務部 財政課 財政係
☎(24)0541 ☎(22)8854

●令和5年度の決算状況は、すべての指標において、健全な水準にあるといえます。市は、引き続き健全な財政運営を進めます。

ちとせ市民応援商品券 2023 発行事業

5億2,550万円

千歳美々ワールド整備事業

1億3,142万円

R5年度 主要事業 プレイバック

千歳駅前広場再整備事業

2億3,355万円

子ども医療費助成事業 (※拡大大分含む)

2億6,673万円

※初診料を除き小学生の医療費を無料化

まちの借金

R6.3.31 現在

市が一度に多額のお金を必要とする事業に認められる《市債》です。道路や学校の建設や、災害復旧などに限られています。

市債の状況

一般会計の借入	277億9,021万円
特別会計の借入	6,660万円
公営企業会計の借入	206億8,062万円
合計	485億3,743万円

まちの財産

R6.3.31 現在

土地・建物

《普通財産》のほか、市が使用する《公用財産》、市民が使用する《公共用財産》とに区分します。

財産区分	土地	建物
行政財産	1,277万9,680㎡	47万3,728㎡
公用財産	190万877㎡	5万5,877㎡
公共用財産	1,087万8,803㎡	41万7,851㎡
普通財産	397万492㎡	1万2,045㎡
合計	1,675万172㎡	48万5,773㎡

有価証券

35億2,855万円

出資による権利 (団体への資本金)

2億1,519万円

基金 (事業資金の積み立てなど/全19基金)

225億5,544万円

○財政調整基金 ○農業振興基金 ○奨学基金 ○公共施設整備基金 ○国民健康保険事業財政調整基金 ○土地開発基金 ○みんなで、ひと・まちづくり基金 ○減債基金 ○地域福祉振興基金 ○霊園管理基金 ○ふるさと千歳国際交流基金 ○職員退職手当基金 ○介護保険事業給付準備基金 ○心のふるさと千歳基金 ○特定防衛施設周辺整備調整交付金基金 ○公立千歳科学技術大学施設整備基金 ○森林環境基金 ○空港を核としたまちづくり基金 ○教育情報機器整備基金